

# 堀内しげよし議会だより

討議資料

～市政に届けます みなさんの声  
そしてアイデアを！！～

第61号  
2026. 3. 24.  
作成: 堀内しげよし  
住所: 豊川市赤坂町平山1番地



## 令和8年第1回定例会 (2月24日～3月23日)

### 1. 議会日程

定例会は28日間開催されました。上程された議案は令和8年度予算14件、令和7年度補正予算9件、条例15件、その他5件の合計43件の議案を審議しました。

### 2. 令和8年度予算概要

一般会計	824億4000万円	対前年度比	0.8%増
特別会計 (10会計)	211億2020万円	対前年度比	3.8%増
企業会計 (3会計)	401億1502万円	対前年度比	9.7%増
合計	1454億7522万円	対前年度比	3.6%増

#### ◎主な事業(★新規事業)

##### 安全・安心

○交通安全施設整備事業	(道路における安全性向上)	8695万円
○防災施設等整備事業	(新たな避難所に資機材等を備蓄)	1313万円
★公共施設照明設備LED化事業	(リース方式によるLED照明導入)	17億5857万円

債務負担行為期間(令和9年度～令和20年度)



##### 健康・福祉

○放課後児童健全育成事業	(児童クラブの受入れ拡充)	8億8472万円
○就学前教育・保育施設整備費補助事業	(民間保育所の整備費用を補助)	3571万円
★こども家庭センター事業	(地域ニーズと多様な支援の把握)	2845万円
○児童発達支援相談事業	(療育事業を拡充)	4113万円
○保健センター管理運営事業	(総合保健センターがオープン)	6987万円
★生活支援体制整備事業	(生活支援コーディネーター配置)	4504万円
★予防接種事業	(RSウイルスワクチンが定期接種化)	8億8667万円



##### 建設・整備

○公共交通機関等利用促進事業	(自動運転バスの実証実験等実施)	2億 445万円
○道路等維持補修作業委託事業	(スマホ通報システム他の導入)	5377万円



##### 教育・文化

★校内教育支援センター支援員配置事業	(中学校内に設置し支援員配置)	306万円
★陸上競技場改修事業	(改修工事と競技用備品等購入)	1億4604万円
○桜ヶ丘ミュージアム展示事業	(歴史・美術の企画展を実施)	1730万円
○文化ホール公演事業	(音楽や演劇などを実施)	1350万円
★プラネタリウム有効活用事業	(プラネタリウム番組数を増)	242万円



##### 産業・雇用

★施設園芸エネルギー・飼料価格高騰対策支援事業	(物価高騰影響の農家を支援)	5027万円
○スタートアップ連携事業	(新事業創出や課題解決を支援)	1290万円
★電子版とよかわ元気応援券等発行事業	(応援券発行とプレミアム付商品券販売)	7億 74万円
★豊川稲荷門前基盤整備事業	(魅力ある観光地に向けた整備)	4億 158万円



##### 地域・行政

○一宮地域交流会館(仮称)整備事業	(複合施設と体育館の整備着手)	25億6480万円
-------------------	-----------------	-----------

供用開始は令和9年度と令和11年度



(裏面に続く)

## 令和8年度予算のポイント！

豊川市一般会計予算においては過去最大規模の予算となっている。第7次総合計画及びマニフェスト事業への重点配分、人件費の上昇や物価高騰への対応に加え、国の経済対策に呼応する事業や社会保障関係費の増加、公共施設の統廃合や長寿命化といった諸課題に対する積極的な予算となっています。

いくつかの大型公共施設整備については、ファミリーマネジメントを念頭におき、特定目的基金や財政調整基金の積極的な活用等で財源確保するとともに交付税措置の有利な起債を活用し、健全な財政運営に配慮した内容となっています。よって、本予算は適正な予算と判断しました。

## 3. 令和7年度一般会計補正予算

### ◎主な追加補正された事業

・小学校管理費(危険木伐採:10校分)	650万円
・中学校管理費(危険木伐採:4校分)	670万円
・小学校環境対策事業費(普通教室等空調設備設置工事:7校分)	3050万円
・中学校環境対策事業費(普通教室等空調設備設置工事:3校分)	4130万円
・市債元金償還金	3億3835万円
・病院事業会計繰出金	1億3512万円

## 4. 豊川市中小企業振興基本条例の制定

豊川市では、これまで中小企業に対する各種補助金や融資、相談体制整備等の支援を行ってきました。しかし、近年の人手不足や原材料費の高騰、デジタル化の対応に加え事業継承問題など複雑な課題が顕在化しています。その状況を踏まえ、条例を制定することが求められ策定に至りました。目的としては中小企業の振興に対する基本理念を定めることにより、市の責務や支援機関等の役割が明確となり、関係する全ての主体が共通認識のもとで連携した支援を行うことが可能となります。また、中小企業の経営基盤の強化を通じて、地域経済の発展及び市民生活の向上が期待されます。

## 5. 一般質問

一般質問は14名が登壇しました。私の主な質疑内容は下記のとおりです。



### ◆豊川市民病院の経営等への取組について

【問い】市民病院の経営状況は？

【回答】今年度の決算額は人件費のベースアップや物価高騰の影響で前年度よりも赤字額は大きくなると予測されるなか、市の一般会計からの繰出金も年々増加している

【問い】チーム医療推進に伴う看護師の役割拡大の状況は？

【回答】チーム医療の展開が求められるなか、特に看護師においてはより高度な診療の補助業務を担う存在としてその役割の拡大が期待されている「特定看護師」の育成に力を入れており現在7名が血糖コントロールや呼吸器関連、薬剤投与などの分野で活躍している

【問い】災害への備えについては？

【回答】すでにDMATを発足させ積極的に活動しているなか、災害派遣精神医療チーム通称DPATと呼ばれる災害派遣チームを精神科医師2名、看護師3名、そして業務調整員2名の7名を昨年度新たに編成した

## トピックス

### ■「Jクレジット」連携事業スタート

豊川市では、豊川市ゼロカーボンシティ実現に向け、(株)バイウィルとJクレジット化をはじめとした事業連携の協定を締結(1月16日)しました。また「地産地消」による地域の脱炭素化のため、創出したJクレジットを、市内企業へ重点的に販売する協定を環境パートナーの豊川信用金庫と締結(1月26日)しました。

## 暮らしの相談のご案内



郵便番号 441-0295  
連絡先 豊川市赤坂町平山1番地 東海理化音羽工場内「暮らしの相談室」  
TEL 090-8152-6413  
FAX 0533-87-2832